



◀ 本校の交流及び共同学習の目的 ▶

- 同世代の児童生徒を中心に、様々な人との関わり合いや学び合いを通して、
- ①互いを尊重し合う豊かな人間性を育むと共に、地域で「ともに学び、ともに育つ」関係性をつくる。
 - ②それぞれが個性や特性を活かして、社会の中で自分らしく主体的に生きる力を育む。

和泉支援学校の交流活動について紹介します

学校間交流と共同学習

【小学部】

- ・あすなろ交流 ⇒ 本校の高学年と支援学級の児童で楽しい活動をする。
- ・移動動物園 ⇒ 泉大津市の小学校へ行き、本校低学年と泉大津市立小学校支援学級の児童と一緒に動物に触れ合う。
- ・池上小学校 ⇒ 同学年の児童と授業を行い、関わり合いながら共に学習する。

【中学部】

- ・和泉中学校 ⇒ 和泉中学校の生徒が本校の授業に参加し交流をする。作品展の時期に、お互いの作品展示交流を行う。
- ・富秋中学校 ⇒ 校内案内やレクリエーション、教科学習などを通して、同学年の生徒と交流をする。

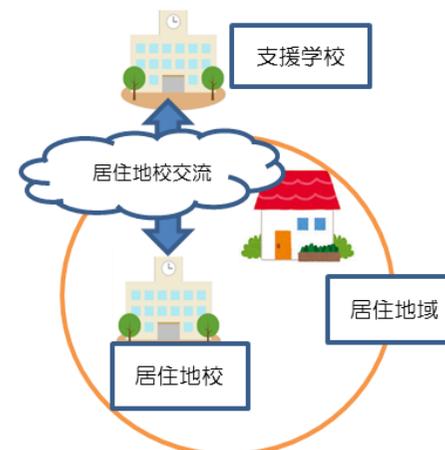
【高等部】

- ・登美丘高校 ⇒ 吹奏楽部と演奏交流会で交流をする。
- ・伯太高校 ⇒ 生徒会、クラブ活動生が中心となって伯太高校生と交流を行う。

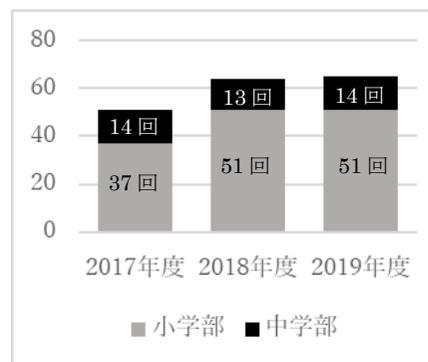
居住地校交流

支援学校の児童・生徒が自分の居住している地域の小・中学校へ行き、交流活動や共同学習を行います。

地域の人たちとつながり、安心して生活する基盤をつくることはすべての子どもたちにとって大切なことです。



◀ 和泉支援学校の居住地校交流数の推移 ▶



	実施人数 (人)		実施回数 (回)	
	小	中	小	中
2017年度	28	10	37	14
2018年度	39	8	51	13
2019年度	34	8	51	14

居住地校交流の実施については、希望アンケートをもとに相手校と回数や内容を相談・調整して行います。学校間の連携や交流内容のよりいっそうの充実をめざしています。

【 今年度の交流及び共同学習について 】

今年度の交流及び共同学習については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から直接会う交流は中止となりました。間接的な交流の実施についてその方法等を検討中です。